

# MSマウント – メモリ開放運動

MSマウントは、Memory StickやSDカードなどにあるPalmアプリケーションや読み出し専用データベースが本体メモリ上にあるように見せかけるソフトです。カード対応していないPalmアプリケーションでもMSマウントを利用することにより対応させることができます。MSマウントを利用することにより、辞書のような巨大なデータベースを本体メモリ上よりカード上へ追いや、メモリを開放することができます。

[ここから download](#) できます。

<div>環境設定 ▼ MSマウント</div> <div>マウントフォルダ： /Palm/Programs/MsMount</div> <div><div>有効</div><div>無効</div></div> <div>設定... a</div>	<div>環境設定 ▼ MSマウント</div> <div>マウントフォルダ： /Palm/Programs/MsMount</div> <div><div>有効</div><div>無効</div></div> <div><input type="checkbox"/> リセット後に有効 <input checked="" type="checkbox"/> HotSync中は無効</div> <div>a</div>
---	--

## インストール方法

上記のリンクよりダウンロードしたファイル MSMount10.zipを展開して、MSDW.prcおよびMSMount.prc, MSMount\_jpJP.prcをPalmデバイスにインストールする。

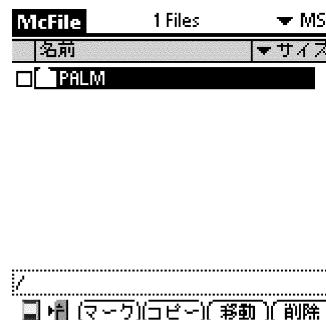
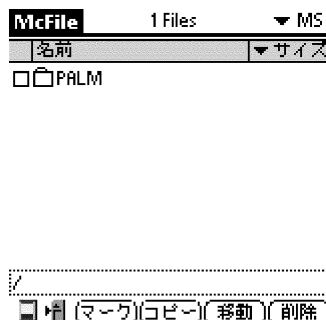
英語版のPalmOSの場合には、MSMount\_jpJP.prcはインストールする必要はありません。

## 設定方法

Memory Stick上にマウントしたいフォルダを作成し、そこにPalmアプリケーションおよび読み出し専用のデータベースをコピーする。

Memory Stick上のファイル操作には [McFile](#) もしくは [Filez](#) などが便利です。ここでは、McFileを例に説明します。

## MSマウント

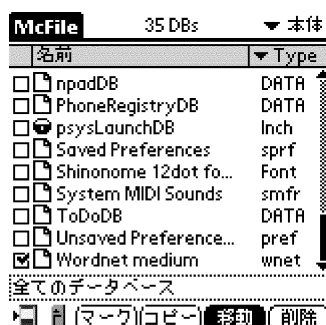


McFileを起動して、カード上でMSマウントがマウントするフォルダを作成します。/Palmの下にNoalLiteというフォルダを作成します。

下部のカレントフォルダを表示している部分をタップするとディレクトリ選択ダイアログが表示されます。このダイアログの新規ボタンでフォルダを作成します。



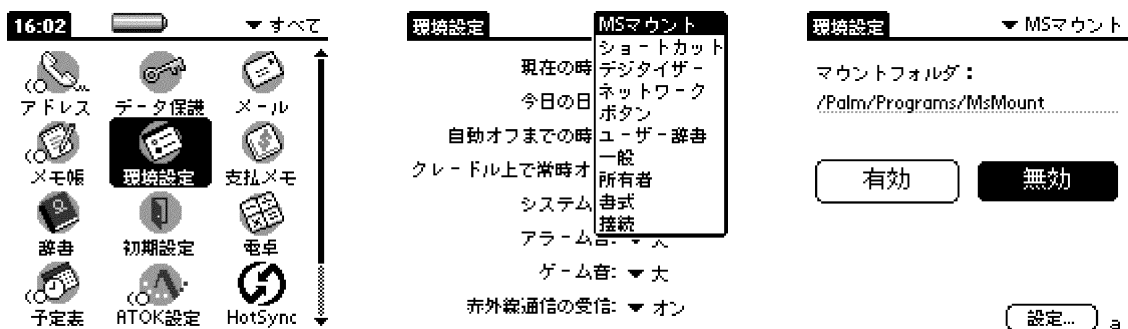
次に、作成したフォルダに本体メモリ上から追い出すアプリケーションやデータベースを移動させます。テーブルの左端のチェックボックスをチェックして移動ボタンを押して移動先を指定します。



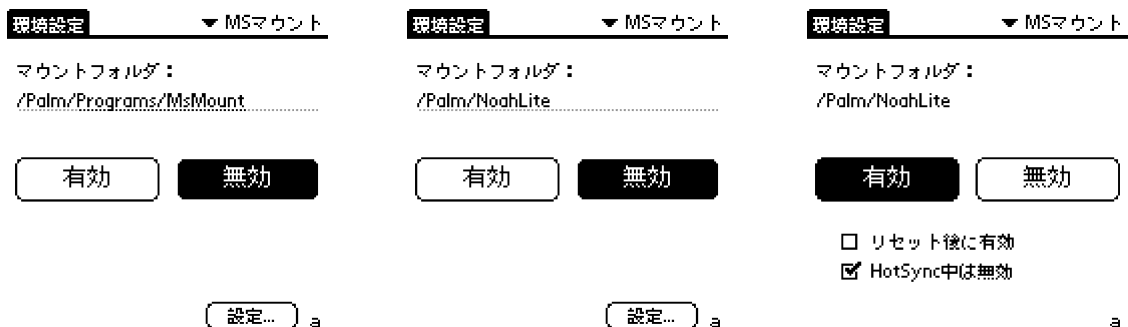
## MSマウント



環境設定を起動して「MSマウント」パネルを選択する。



マウントフォルダとして先ほど作成したフォルダを指定して「有効」ボタンをタップする。

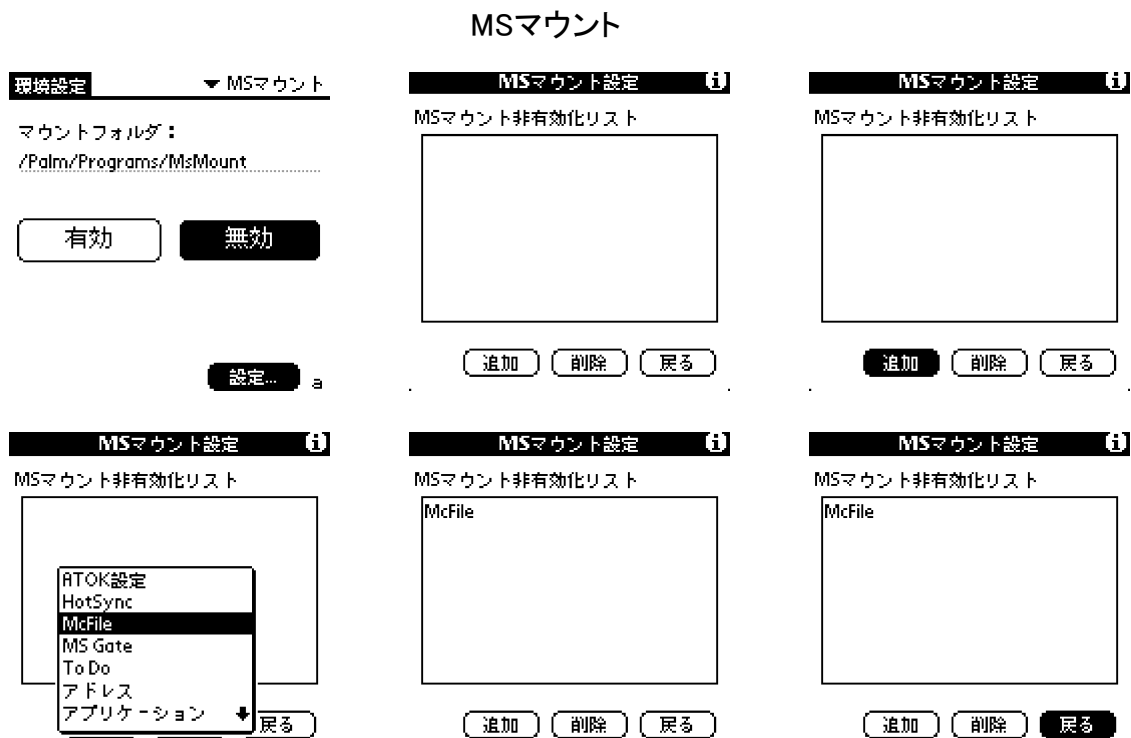


MSマウントが「有効」状態ではマウントフォルダの設定は変更できません。一旦「無効」にしてから変更してください

「有効」状態にすると、マウントフォルダに置いてあるアプリケーションやデータベースが本体メモリに存在するように扱うことが可能となります。

アプリケーションによってはMSマウントが有効になっていると問題になるものが存在します。MSマウントでは、そのようなアプリケーションが動作中にはMSマウントの機能を一時無効化するように設定可能です。

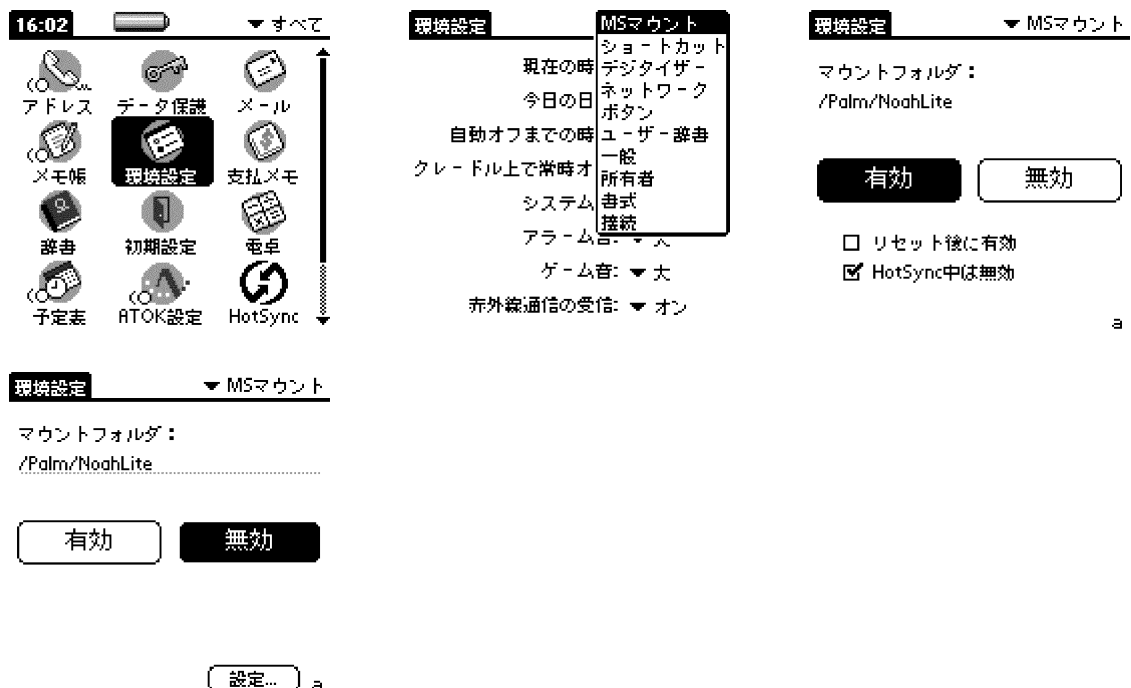
設定を行うためには、一旦 MSマウントを「無効」状態にします。そうすると、右下に「設定...」ボタンが現れます。MSマウント設定ダイアログの「追加」ボタンで表示されるアプリケーションリストから無効化するアプリケーションを選択します。



ここでは、McFileを MSマウント非有効化リストに追加しました。この後、MSマウントを有効化した後も McFileからはマウントしたデータベースが現れなくなります。

## アンインストール方法

環境設定の「MSマウント」パネルにて「無効」ボタンをクリックする。



アプリケーションの削除オプションで MSDWおよび MSマウントを削除する。

## MSマウント



## バージョンアップ方法

アンインストール方法と同様に環境設定の「MSマウント」パネルにて「無効」ボタンをクリックする。

最新の MSDW.prcおよび MSMount.prc, MSMount.jpJP.prcをインストールする。

## 注意

問題のあるアプリケーションの利用するデータベースをマウントフォルダに置かないようにしてください。

動作しない場合には、**HACKを外してみたり、Cruise Controlのような Clock Upのソフトの使用を止めて**試してみてください。

On Demandでリソースやデータベースのレコードを Memory Stickから本体メモリにコピーしています。この処理が失敗する場合には警告音が鳴ります。この場合、本体メモリの空きが少ないので増やすようにしてください。

psysLaunchデータベースを利用するアプリケーション(標準のラウンチャなど)を非有効化アプリとして指定しないでください。

ダイナミックヒープが足りなくなる場合には、マウントするファイルの数を減らしてください。

## MSマウント

### 履歴

Version 1.0 2001/08/04 Release Candidate



---

[nagamatu@p.chan.ne.jp](mailto:nagamatu@p.chan.ne.jp)